



EMBASSY OF THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR, TOKYO



NEWSLETTER VOLUME NO. 22

DATED: 2nd Oct 2023

No.	表 題
1.	国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官 連邦領ネーपीドーにて開催の2023年第3回雨季植樹祭に出席 セイロンテツボク（ガンゴウの木）の植樹を先導
2.	国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官に駐ミャンマーバングラデシュ大使が信任状を提出
3.	国家統治評議会議長ミン・アウン・フライン国軍総司令官 Alongkorn Vannarot タイ王国空軍司令官代表団と面会
4.	国家統治評議会副議長兼副司令官ソー・ウィン中佐（陸軍）ASEAN 空軍司令官らと会談
5.	第20回 ASEAN 空軍司令官会議（20 th ASEAN Air Chiefs Conference（20 th AACC）ミャンマーの主催により開催
6.	タン・スエ副首相兼外務大臣 H. E. Mr. Vinay Kumar 駐ミャンマーインド共和国大使と面会
7.	タン・スエ副首相兼外務大臣 国連人道問題調整事務所のミャンマー担当と会談
8.	タン・スエ副首相兼外務大臣 駐ミャンマーバングラデシュ大使と面会
9.	タン・スエ副首相兼外務大臣 サウジアラビア大使と面会
10.	タン・スエ副首相兼外務大臣 17.H.E. Mr. Mubarak M A Aladwani 駐ミャンマークウェート大使と面会
11.	タン・スエ副首相兼外務大臣 ロシア連邦を訪問
12.	タン・スエ副首相兼外務大臣と Mr. Sergey Lavrov ロシア外務大臣 ミャンマー・ロシア二カ国会談
13.	タン・スエ副首相兼外務大臣 ベラルーシ共和国の外務大臣と会談 副首相兼外務大臣 中国外務省のアジア担当特使と面会
14.	タン・スエ副首相兼外務大臣 カタール大使館の臨時代理と面会
15.	タン・スエ副首相兼外務大臣 カタール大使館の臨時代理と面会
16.	副首相兼外務大臣 バンコクに拠点を置く国連プロジェクト・サービス事務所のアジア地域局長と面
17.	コー・コー・フライン第二連邦政府大臣の先導で、ヤンゴンに拠点を置く大使館の大使や外交官らが、各省庁の担当者とともにマウント郡区タウンピョーレウエの受け入れ施設を訪問、帰還事業の状況などを視察
18.	第8回佛教サミット並びにナーランダ・マハヴィハーラ仏教大学開校式典に出席

19. 中国国籍およびインド国籍の観光向けの到着ビザ（**Visa on Arrival (VOA)**）の発行
20. 外交旅券および公用旅券所持者に対する4か国へのビザ免除の追加
21. ミャンマーの対外貿易額 2023-2024 財政年度の5か月間でUSドル130億超
22. 海外市場での蜂蜜の価格が1トン当たりUSドル3,000に到達 今年度、民間の養蜂事業が拡大
23. 製造業分野の輸出額USドル30億超

国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官 連邦領ネーपीドーにて開催の
2023年第3回雨季植樹祭に出席 セイロンテツボク（ガンゴウの木）の植樹を先導

2023年第3回雨季植樹祭の式典が2023年9月5日午前に行われ、連邦領ネーピードーのデッサキナ県レーウエ郡区ヤンアウンミン森林保護区、13区画内、ヤンゴン-マンダレー高速道の204マイル1ハロンからマヤウィザヤ仏像入口までの道路の両側に沿って、国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官が、セイロンテツボク（ガンゴウの木）の植樹を先導しました。

式典の冒頭、国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官が、本日の植樹祭に15種類の樹木、合計2520本が植えられること、全国各地で毎年盛んに植樹が行われており、今年の雨季には国有林を含む2462万9000本の植樹が行われていると述べました。

その後、式典に出席した国家統治評議会副議長兼副首相ソー・ウィン副司令官ならびに担当者らが一斉に植樹を行いました。

今回開催された第3回雨季植樹祭式典では、セイロンテツボク（ガンゴウの木）、ミサキノハナ、ハマゴウ、ビルマカリン（バダウ）などを含む15種類の樹木、合計2520本が植えられ、今年の雨季には国有林を含む合計2462万9000本の植樹が行われました。



国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン国軍総司令官に駐ミャンマーバングラデシュ大使が信任状を提出

国家統治評議会議長兼首相ミン・アウン・フライン総司令官に、駐ミャンマーバングラデシュ大使として任命された H.E. Dr. Md. Monwar Hossain が 2023 年 9 月 6 日午前 10 時にネーピードにある国家統治評議会議長室の外交貴賓室にて信任状を捧呈しました。

その後、両国の外交関係や友好に関する事柄、相互貿易の促進に関する事柄、国境の違法貿易、薬物の売買根絶のために両国が協力する事柄、避難民の再受け入れに関する事柄、地域安定のため防衛に協力する事柄、「モカ」サイクロンの被害に関する協力や、ミャンマーの現在の政治情勢について親しく話し合いが行われました。



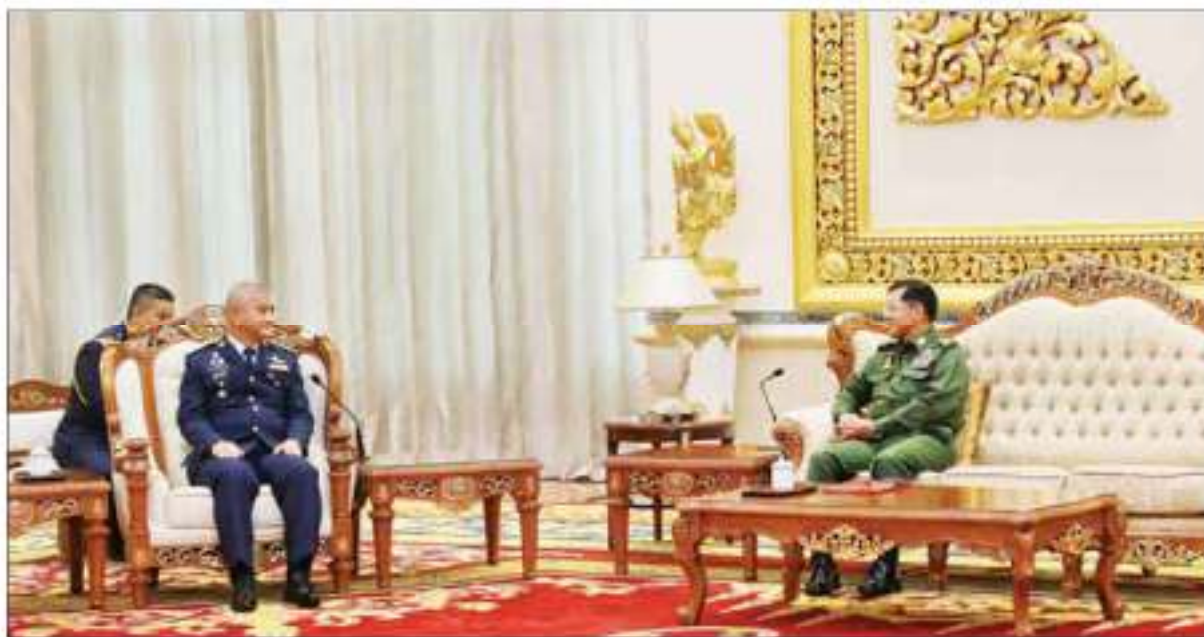


国家統治評議会議長ミン・アウン・フライン国軍総司令官

Alongkorn Vannarot タイ王国空軍司令官代表团と面会

国家統治評議会議長ミン・アウン・フライン国軍総司令官はミャンマーが主催国として開催した第20回 ASEAN 空軍司令官会議（20th AACC）に出席した Alongkorn Vannarot タイ王国空軍司令官率いる代表团と、2023年9月15日午前、ネーपीドーのゼヤティリベイマン貴賓室にて面会しました。

会談では、両国の国軍間の友好関係の状況が良好であること、ミャンマー国軍（空軍）とタイ王国空軍の間の協力状況、ミャンマー・タイ国軍間の高官会議（HLC）とミャンマー・タイ国境委員会会議（RBC）が毎年行われている状況、両国の友好の発展と友好訪問に関する事柄などについて友好的に話し合いました。



国家統治評議会副議長兼副司令官ソー・ウィン中佐 (陸軍)

ASEAN 空軍司令官らと会談

国家統治評議会副議長兼副司令官ソーウイン中佐 (陸軍) は、2023 年 9 月 14 日午前、ネーピードーのゼイヤティイビイマンにて、ミャンマーが主催国として開催した第 20 回 ASEAN 空軍司令官会議 (20th AACC) に参加した ASEAN の空軍司令官らと会談しました。

会談では、国家統治評議会副議長兼副司令官ソー・ウイン中佐(陸軍)が、国家統治評議会として総合的な国土発展のための 5 つの事業と 9 つの目標を定めて、政治的な目標 2 つと国家目標 2 つを成功させるよう実践している状況、また国勢調査・世帯調査の状況と、10 年ごとに実施される国勢調査・世帯調査の準備、自由で公正な複数政党制総選挙を順調に開催するための準備状況、ASEAN 国軍同士の協力に関しての事柄について話し合い、さらに第 20 回 ASEAN 空軍司令官会議が成功したことについての見解などについても話し合いました。



第 20 回 ASEAN 空軍司令官会議 (20th ASEAN Air Chiefs Conference (20th AACC))

ミャンマーの主権により開催

ミャンマーの主権による第 20 回 ASEAN 空軍司令官会議 (20th ASEAN Air Chiefs Conference (20th AACC)) が、9 月 13 日よりネーपीドーの国際会議センター (MICC) にて開催され、ブルネイ、カンボジア、ラオス、タイ、ベトナムの空軍司令官ならびに代表団が出席しました。

空軍司令官であるトゥン・アウン大將が、会議に出席したブルネイ、カンボジア、ラオス、タイ、ベトナムの空軍司令官率いる代表団に対し、同日夕方、ネーピードーの M Gallery ホテルにて国ごとに出迎え、ASEAN の空軍間の親密な協力関係について話し合いました。さらに、ASEAN 加盟国の空軍司令官率いる代表団らと個別に意見交換を行いました。

ブルネイ空軍司令官 Brig. Gen. (U) Dato Seri Pahlawan Mohammad Sharif Bin Dato Paduka Haji Ibrahim 率いる代表団、カンボジア空軍司令官 Gen. (U) Soeung Samnang 率いる代表団、ラオス空軍司令官 Gen. (U) Soeung Samnang 率いる代表団、タイ空軍司令官 Air Chief Marshal Alongkorn Vannarot 率いる代表団ならびにベトナム空軍司令官 Lt. Gen. Nguyen Van Hien 率いる代表団らが同日午前と夕方、ネーピードーに到着、タツマドー (空軍) の高官ならびに担当者らよりネーピードー空港にて出迎えを受けました。



タン・スェ副首相兼外務大臣 H.E. Mr. Vinay Kumar 駐ミャンマーインド共和国
大使と面会

タン・スェ副首相兼外務大臣は2023年9月4日午前10時半に H.E. Mr. Vinay Kumar 駐ミャンマーインド共和国大使とネーピードの外務大臣室にて面会しました。

会談では、ミャンマー・インド二国間の既存の友好関係をさらに強化すること、教育及び情報技術分野における両国の相互利益と協力の向上、両国が協力している計画をより緊密に継続し実施すること、両国国境地域の安定と平和を維持するために引き続き協力すること、国境貿易を含む貿易と経済の協力を促進すること、両国間の領事問題においてさらに協力すること、ASEAN と国連を含めた地域及び国際面での密接な協力などについて意見交換をしました。



タン・スェ副首相兼外務大臣

国連人道問題調整事務所のミャンマー担当と会談

タン・スェ副首相兼外務大臣は2023年9月6日午前10時30分に国連人道問題調整事務所(UNOCHA)のミャンマー担当 Mr. Sajjad Mohammad Sajii と外務省にて面会しました。

会談では、国連人道問題調整事務所(UNOCHA) 所長兼緊急援助調整官マーティン・グリフィス国連人道問題担当事務次長の8月のミャンマー訪問後において、ミャンマー政府と国連の関連組織の間でさらに協力できる方法などに関して話し合いました。

上記会談に外務省の高官、ならびに Mr. Ramanathan Balakrishnan 国連暫定常駐調整官兼暫定人道調整官が参加しました。



タン・スエ副首相兼外務大臣 駐ミャンマーバングラデシュ大使と面会

タン・スエ副首相兼外務大臣は2023年9月6日午後1時に駐ミャンマーバングラデシュ大使として任命された H.E Dr. Md. Monwar Hossain と面会しました。

会談では、副首相兼外務大臣が、同大使に駐ミャンマーバングラデシュ大使に任命されたことについての祝福の言葉を述べた後、ミャンマーバングラデシュ二国間の関係のさらなる強化、両国の貿易や投資合併を含む相互利益の分野での協力の促進、ラカイン州からの避難民の帰還事業の再開実施、さらに地域及び国際的に利益のある事柄に関して率直に意見交換を行いました。



タン・スェ副首相兼外務大臣 サウジアラビア大使と面会

タン・スェ副首相兼外務大臣は2023年9月6日15時30分にH.E. Mr Saud bin Abdullah Alsubaie 駐ミャンマー連邦共和国 サウジアラビア特命全権大使とネーピードーの外務省 大臣貴賓室にて面会しました。

会談では、ミャンマー - サウジアラビア間の友好と協力のさらなる強化や、貿易、投資、エネルギー、労働者、観光、言語、文化交流などの分野における両国の相互利益についての協力の向上、また両国間で締結される協定などについての調整、ラカイン州の避難民の再受け入れ事業の実施、さらに地域ならびに国際面での相互支援などについて親密かつ率直に意見交換を行いました。



タン・スェ副首相兼外務大臣 17.H.E. Mr. Mubarak M A Aladwani 駐ミャンマー クウェート大使と
面会

タン・スェ副首相兼外務大臣は2023年9月7日午前10時30分、H.E. Mr. Mubarak M A Aladwani 駐ミャンマー クウェート特命全権大使とネーピードーの外務省にて面会しました。

会談では、ミャンマーとクウェート間の既存の友好関係のさらなる促進や、貿易、投資、エネルギー、労働者などの分野を含む相互利益についての協力の強化、二国間の協定の履行や署名される協定についての引き続きの調整、また地域内と国際面、特にASEAN-アラブ湾岸および国連の枠組みの下での緊密な協力などについて、親密かつ率直に意見交換を行いました。



タン・スェ副首相兼外務大臣 ロシア連邦を訪問

ロシアのセルゲイ・ラブロフ外務大臣の招待により、タン・スェ副首相兼外務大臣が2023年9月12日から14日までロシア連邦を訪問しました。

2023年9月14日にミャンマー - ロシア 二国間会談を、ロシア外務省でタン・スェ副首相兼外務大臣ならびにセルゲイ・ラブロフ外務大臣が共同で開催しました。

会談では、ミャンマーとロシア両国の外務省間において、さらに緊密に協力すること、サンクトペテルブルク市とノヴォシビルスク市のミャンマー領事館開館に関する事柄、また防衛、安全、観光及び民間同士の関係や、経済や貿易、銀行業務、エネルギー、工業、教育、通信などの分野の協力に関して重点を置き話し合いました。また二カ国の長年に渡る友好関係をさらに強化し、継続的な二国間の協力などの迅速な進行について、親密かつ率直に意見交換を行いました。

タン・スェ副首相兼外務大臣が、両国間や国際面、特に国連におけるミャンマーについてのロシア連邦の原則的な立ち位置、理解、強力な支援において深謝の意を表し、また新型コロナウイルス感染症流行下でのロシアによるコロナワクチンの寄贈や、2023年9月9日に「モカ」サイクロンの被災者への人道支援についてミャンマー政府とミャンマー国民を代表して深謝の意を述べました。

同日午後、ロシア外務省において、ロシア外務大臣よりミャンマー代表団に昼食が振る舞われました。昼食会では関係する国々の政治状況や両国の関心のある地域や国際状況について意見交換を行いました。

タン・スエ副首相兼外務大臣 | Mr. Sergey Lavrov ロシア連邦を訪問

ミャンマー・ロシア 二国間会談

Mr. Sergey Lavrov ロシア外務大臣の招待で、ロシア連邦を訪問したタン・スエ副首相兼外務大臣は、9月14日に Mr. Sergey Lavrov ロシア外務大臣と ミャンマー・ロシア二国間会談を行いました。

会談では、ミャンマー・ロシア二カ国の外務省の間の親密な協力、サンクトペテルブルク市とノヴォシビルスク市のミャンマー領事館開館に関しての事柄、また防衛、安全、観光及び民間同士の関係や、経済や貿易、銀行業務、エネルギー、工業、教育、通信などの分野の協力に関して話し合いました。また二カ国の既存の友好関係をさらに強化し、継続的な二国間の協力などの迅速な進行について、親密かつ率直に意見交換を行いました。

二





タン・スェ副首相兼外務大臣 ベラルーシ共和国の外務大臣と会談

ベラルーシの Mr. Sergei Aleinik 外務大臣の招待によりベラルーシ共和国を訪問したタン・スェ副首相兼外務大臣は、9月15日午前ベラルーシの外務省で会談し、二国間の関係と協力をさらに向上させることや、国際面での信頼・理解や平等に基づく緊密な協力に関する意見を交換しました。

このミャンマー・ベラルーシ二カ国の会議は、タン・スェ副首相兼外務大臣ならびに Mr. Sergei Aleinik ベラルーシ外務大臣が共同で行ったものです。

会談では、二カ国間の既存の友好関係の強化や現在進行中の合弁事業の協力事項を迅速化すること、両国の外務省間で会議を行うこと、経済や貿易、防衛、農業、教育、科学や技術、文化、さらに民間同士の触れ合いなどの分野での協力をさらに促進することなどに関して、親密かつ率直に意見交換を行いました。





副首相兼外務大臣 中国外務省のアジア担当特使と面会

タン・スェ副首相兼外務大臣は、中華人民共和国外務省の鄧錫軍（トウ・シャク・グン）アジア担当特使と2023年9月18日午前10時30分にネーピードーの外務省にて面会しました。

会談では、二国間の既存の親密な関係をさらに強化させ、相互利益となる協力を加速度的に促進させること、ミャンマー-中国の国境地域一帯の平和と安定をさらに向上させるために引き続き協力すること、国内平和と国民和解のための事業についての最新の動向、ミャンマーの発展のための努力において、中国が引き続き建設的な支援をすること、また地域・国際面、特にASEANや国連との緊密な協力についてなど、親密かつ率直に意見交換を行いました。



タン・スェ副首相兼外務大臣 カタール大使館の臨時代理 と面会

タン・スェ副首相兼外務大臣は2023年9月20日午前にかたール大使館の臨時代理 Dr. Rashid Abdulla M.A. Al-Kuwari とネーピードの外務省にて面会しました。

会談では、ミャンマー・カタール二カ国間の友好関係と協力をさらに強化すること、貿易、投資と文化交流などの分野で両国の協力を促進すること、二国間で締結される協定についての交渉を継続すること、ラカイン州の避難民再受け入れ事業の実施や、地域や国際面、特に ASEAN・アラブ湾岸協力理事会や国連の枠組みの下でさらに協力することに関して、親密かつ率直に意見交換を行いました。



副首相兼外務外務大臣 バンコクに拠点を置く国連プロジェクト・サービス事務所の
アジア地域局長と面会

タン・スエ副首相兼外務大臣は、バンコクに拠点を置く国連プロジェクト・サービス事務所の Mr. Sanjay Mathur アジア地域局長と 2023 年 9 月 21 日 13 時にネーピードーの外務省で面会しました。

会談では、ミャンマー政府と国連プロジェクト・サービス事務所間の現在の協力と今後の協力方法などについて話し合いました。



コー・コー・フライン第二連邦政府大臣の先導で、ヤンゴンに拠点を置く大使館の大使や外交官らが、各省庁の担当者とともにマウントー郡区タウンピョーレッウエの受け入れ施設を訪問、帰還事業の状況などを視察

コー・コー・フライン第二連邦政府大臣の先導で、ヤンゴンに拠点を置く大使館の大使や外交官らが、各省庁の担当者とともに2023年9月2日午前、国軍のヘリコプターなどでシットウェ市を出発し、マウントー郡区タウンピョーレッウエの受け入れ施設に到着しました。その後、施設の責任者や担当者が施設内の帰還事業の状況や帰還事業の段階的な取り組みを説明する中、大臣一行は必要なものの補充を指示し、キャンプ内を視察しました。

続いて大臣一行は、再入国避難民の再定住地であるチェインチャウン（南部）村に向かい、同村にある避難民のために管理された既成住宅や土地などを視察しました。

その後も引き続きフラポーカウンの一時滞在施設を訪れ、帰還民がフラポーカウンの同施設に一時的に滞在するための準備についての説明を受け、施設内における受け入れ事業の段階的な取り組みを視察しました。





第8回佛教サミット並びにナールンダ・マハヴィハーラ仏教大学開校式典に出席

日本国加東市、念仏宗三宝山無量寿寺の主導により開催された第8回佛教サミット並びにナールンダ・マハヴィハーラ仏教大学（ナールンダ・マハヴィハーラ）の開校式典が、2023年9月13日から15日まで行われ、ソーハン駐日ミャンマー大使および代表者が出席しました。

ソーハン大使は、2023年9月13日（水）午前、念仏宗三宝山無量寿寺で行われたナールンダ・マハヴィハーラ仏教大学の開校式典に出席しました。式典では、14か国からの大使代表者、大使館代理ならびに念仏宗三宝山無量寿寺の長老方々がテープカットをおこない開校がなされました。その式典にはタイのマハーチャクリ・スリドン皇太子妃が主賓として出席されました。

ソーハン大使率いるミャンマー代表団は、2023年9月14日午前に佛教之王堂において開催された第8回佛教サミットの開会式典に32ヶ国からの長老、仏教信者、国連機関代表者、日本駐在各大使館からの大使、大使代理者らとともに出席しました。第8回佛教サミット開会式典には、ミャンマーから国家僧侶議長委員会の評議長老バダンタ・サンディマー・ビウインタ博士、シャン州仏教大学(タウンジー)、学長長老バダンタ・ダマタミ博士（オックスフォード長老）や宗教文化省の役人らが出席しました。



第8回佛教サミット開会式典において出席者の記念写真撮影



ミャンマーから国家僧侶議長委員会の評議長老バダント・サンディマー・ビウインタ博士、 シャン州仏教大学（タウンジー）、 学長長老バダント・ダマタミ博士（オックスフォード長老）並びに各関係国から仏教僧侶らが佛教本会議に出席



ソーハン大使が各国大使館代表者らとともにナーランダ・マハヴィハーラ仏教大学の開校式典のテープカットに出席

中国国籍およびインド国籍の観光向けの 到着ビザ（Visa on Arrival (VOA)）の発行

ミャンマーに空路で訪れる中国人やインド人の観光客のための到着ビザ **Visa on Arrival (VOA)** について、試用期間一年間として2023年8月30日から発行が開始されています。

上記二国からの観光客は、ミャンマー国際空港で到着ビザを申請することができます。申請用紙と6か月以内に撮影されたカラーの証明写真2枚を添付して申請し、到着ビザ受領時にビザ代金としてUSドル50の支払いが必要です。

現在、到着ビザは観光客のみに行われており、申請する観光客のパスポートの有効期限は少なくとも6か月ある必要があります。

申請者はミャンマーの現行の法律を遵守しなければならないこと、また地域における安全のためにミャンマー国内の立入制限区域を訪れることはできません。

外交旅券および公用旅券所持者に対する 4 か国へのビザ免除の追加

ミャンマー政府は、4 か国の外交官および公用旅券保有者に対するビザの免除について、さらに 4 か国の免除を認めました。

ベラルーシ共和国、モロッコ、ネパールの外交パスポートおよび公用パスポート所有者、さらに日本の外交パスポート所持者への入国ビザの免除が認められました。ミャンマーと二国間における外交旅券および公用旅券所持者に対するビザ免除に関する協定によると、入国ビザ免除期間は国に応じて 30 日から 90 日間までと認められています。入国管理・人口省の発表によると、ASEAN 諸国を含む 24 カ国に相互ビザ免除が与えられています。24 か国のリストに、ベラルーシ共和国、モロッコ、ネパールと日本が新たに加わりました。またバングラデシュ、ブラジル、中国、コロンビア、インド、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシア、セルビア、スリランカと ASEAN の 9 か国も含まれました。ビザ免除プログラムによる外交関係のさらなる向上と、ミャンマーと関係各国の間の観光分野のさらなる拡大の目的も示されています。

ミャンマーの対外貿易額 2023-2024 財政年度の 5 か月間で US ドル 130 億超

2023-2024 財政年度の 4 月から 8 月までの 5 か月間で、ミャンマーの対外貿易額が US ドル 130 億以上であったことが商務省より報告されました。

2023 年 4 月から 8 月までの 5 か月間で輸出額は US ドル 64 億 8400 万で、輸入額は US ドル 72 億 1300 万に上りました。海上貿易は US ドル 95 億 8700 万で、国境貿易は US ドル 41 億でした。

ミャンマーは農作物、畜産物、水産物、鉱物、林産物、工業完成品などを輸出している一方、資本財、中間財、日用品ならびに CMP（委託加工形態）事業で使用する原材料などを輸入しています。



海外市場での蜂蜜の価格が 1 トン当たり US ドル 3,000 に到達

今年度、民間の養蜂事業が拡大

海外市場でミャンマーの蜂蜜の価格が 1 トン当たり US ドル 3,000 という高値で取引されていることから、民間の養蜂事業が拡大していると畜産・獣医局の養蜂開発部が明らかにしました。

ミャンマー産の蜂蜜は海外市場で高値で取引されているため、今期の財政年度において民間の養蜂事業が拡大しており、前年の財政年度では民間の養蜂業者が 820 であったのに対し、今期の財政年度は 130 以上拡大し、今期の民間の養蜂業者は 950 となっています。

ミャンマー産蜂蜜は品質が優れているため、海外市場においてもアメリカ、日本、韓国、カナダや ASEAN 地域諸国などで取り引きされており、海外市場においても種類によっては蜂蜜 1 トン当たりの価格は US ドル 2500-3000 で、年間 3000 トンほどの蜂蜜が海外に輸出・販売されています。

製造業分野の輸出額 US ドル 30 億超

2023年-2024年財政年度の4月1日から8月25日までの製造業分野の輸出額はUSドル38億5000万であったと商業省貿易局より報告がありました。

民間部門の輸出額はUSドル25億1000万、政府部門の輸出額はUSドル13億4000万に達しました。ミャンマーの製造業の分野ではCMP（委託加工形態）に基づいた衣料品の生産を主に行っています。

CMPにて縫製された衣料品はミャンマーからの主な輸出品です。2番目に多く輸出されている商品は天然ガスです。一方、輸入品のトップは石油製品で、次いで繊維・衣料品の原料となっています。

ミャンマーは農産物、畜産物、水産物、天然資源や林産物なども海外に輸出しています。輸出部門の中で製造業は最も多く輸出収入を得る部門の一つです。